

我孫子市消費者の会

お知らせ

2011年2月15日 第36期 No. 11-416号

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syuhisyanokai.com/>

消費生活展終了

消費者の会としての最大の行事はやはり消費生活展でしょう。今年は第35回ということで、入り口の右側に、1回から34回までの冊子を並べて飾りました。入り口の左側は張り子の獅子頭。会員の湖北・飯塚薬局の宇佐美さんのご主人の制作。とても立派なものでした。実行委員長稲田豊作さん（住宅センター協議会）のアイデアでした。

冊子の第1回はガリ版で作ったもの。我孫子市消費者の会だけの行事で、続くものかどうかもわからなかったのも、「第1回」の文字も入っていませんでした。我孫子中学校の体育館で、農業まつり（野菜の品評会）の一隅を借りて開いたのを覚えています。

第2回から我孫子市と共催になりましたが、5回目まではガリ版でした。なかなか歴史を感じさせる展示でした。第1回を開いた時の会長だった豊島貞子さんに電話をかけましたので、当時の会員の方と二人で来てくださいました。懐かしみながらも、立派になって継続されていることを喜んでくださいました。

2月5日（土）6日（日）両日とも400名近い入場者がありました。今年の冊子を配布します。会場に来て冊子をもった方は、お友達にあげるなどして、中身を良く読んでもらってください。

寸劇 両日とも11時からと14時30分から「あなたは狙われている 悪質商法にかからないために」の、「オレオレ詐欺」と「SF商法」の寸劇をしました。台本を見ながらでしたが、両方ともなかなか真に迫っての読み方で、観客の微笑を誘っていました。

昨年同様、JCOMテレビの取材がありましたので、放送されたものと思います。ビデオを

もらって、3月の定例会でみんなで見ると予定です。

手作りコーナー 中央のコーナー2つを使って、アクリルはたきとアクリルたわし作りの指導をしました。両日とも作る人が絶えない状態でした。

折り紙の指導コーナーも子ども達が楽しんでいました。

質問 消費者の会のコーナーで、「オレオレ詐欺の電話がかかったことがあるか、ないか」の質問をしました。全員に聞いたわけではありませんが、2日間で、かかってきた人125対かかったことはない331でした。約37%の方が経験していました。若い方にはほとんどかかっていませんので、どこかで年齢を調べているのでしょうか。

赤と緑のシールで分けて見えるようにしていただきましたので、かかったことはないという方に、「今朝からこれだけの方がかかってきたとおっしゃっていますよ」と言うとおびびっくりされ、「テレビや新聞で知ってはいるが、近くでもこんなにあるんだ」と改めて認識を深くされました。

我孫子に石けんを広める会

今年もこの会の名前で一つのブースをもらいました。消費生活展の中で、消費者の会の分身として、市民に働きかけを行っています。この経過について、改めて書いておきます。

この会は昭和53年、我孫子市内の石けん運動の高まりの中で作られました。市内の学校給食の食器洗いを石けんにして欲しいという、市や市議会への働きかけをきっかけに、中央学院大学のグループなど、多くの団体が一つになりました。

その後、条例を作って欲しいという直接請求運動があり、我孫子市では「我孫子市石けん利用推進対策審議会の設置及び運営に関する条

例」ができました。その審議会の答申として、我孫子市は石けんの使用を推進していくことを含めた、「我孫子市石けん利用推進要綱」を作りました。

その要綱の中で、活動の中心を担う、市民を母体とした「我孫子市石けん利用推進協議会」を作り、市が事務局を担当することを決めました。

その後の消費生活展の中で、石けん利用推進の市民への働きかけは、「我孫子市石けん利用推進協議会」が行うことになりました。

今は、消費生活展実行委員会の中でその年のテーマを考えたとき、テーマに沿って一つの啓発を行う会として、「我孫子市石けんを広める会」の名前を使っています。代表を栗原洋子さん、担当として松岡美佐子さんの二人が実行委員会に参加し、企画をしてくれています。今年「戻らない解約金～契約は慎重に～」のブースを担当しました。

受付 スタンプラリー回収 アンケート回収 チラシ配布 休憩所の用意等

消費者の会の担当で、スムーズに生活展が終了しました。お疲れさまでした。

3月定例会

3月14日（月）13:30～16:00

我孫子南近隣センター 8F第2会議室

いつもの第1月曜日は千葉県消費者団体連絡協議会の定例会に譲りました。日と場所が違いますので、ご注意ください。

手に入ればJCOMの消費生活展のビデオを見ます。

4月定例会

4月4日（月）13:30～16:00

我孫子南近隣センター 8F和室

県議会の選挙中で、期日前投票所開設のため、和室になりました。37期の活動について話し合います。

高齢社会への対応を探る会

消費者の会も参加している表記の会は、今年度、「高齢者を地域で支えるネットワークづくり～交流から見守りへ、見守りから交流へ～」をテーマに活動してきました。10月2日は結城康博氏の講演と、市内での見守り活動6団体の紹介、市や社協の仕組みの説明を行いました。

その後、月1回の定例会では、6団体以外の

活動について、3～4人に報告をしてもらって来ました。

11月は「家事支援サービスの現状と課題」として、「デイヘルプ」「まどか」「あシラネ」「ビークルサービス」の4団体の活動について話してもらいました。

12月は、公的施設を利用、補助金を活用している例として、「新木ふれあいサロン」の山田小津枝さん。個人の家を利用、補助金を活用している例として、「天子山ふれあいサロン」の福田禎子さん。公的施設を利用、補助金を使用していない例として「ひなぎくの会」の内田恵子さんに話を聞きました。

1月は、「いつでも立ち寄れる場所をもっと増やそう」のテーマで、つどいの家並木を運営している「結いの会」の長南茂由さん。つどいの家湖北台の古関京子さん。一粒の麦の木田典子さんに話していただきました。

孤独死が大きな問題となり、新聞やテレビでも「孤族」「無縁社会」という言葉が使われる現代です。できるだけ地域の隣近所で交流を深めたり、お互いを見守る社会を作ることが求められています。今年の「高齢対応」の会のテーマは、一般社会より一歩先を歩いていると思います。どなたでも参加できます。毎月第3水曜日、午後1時30分からアビスタ第2学習室で。

すでに栗原さんは、月に一度自宅を開放して、ご近所のお茶飲み会を始めました。誰かが作ってくれるのを待つばかりでなく、一歩踏み出しませんか。

今年も緑のカーテンを作しましょう

今年度も県民提案事業で講習会をしたいと提案しましたが、残念ながら通りませんでした。でも、消費者の会は「地球温暖化防止」「CO₂削減」は会の目標として今年も続けることにしました。

具体的には、希望される方にゴーヤの苗を、一人2本「進呈」します。配布は植え付けの適期の5月ですが、3月の15日までに和田へお申し込みください。留守電でも遠慮なく入れてください。

7183-1434。

